

一年生で初めてのグループ学習体育

～実践報告から見たこと～

実践するにあたって

2010年8月の全国大会（京都）で、低学年分科会「マット運動」に参加したことがきっかけで、一年生のマット運動の実践をすることになりました。

子どもたちも私も体育で初めての実践ということで、本当にできるのかという不安もありましたが、実際に実践すると、子どもたちにグループ学習をさせたかったし、グループ学習をすればどんな力がつくのかを知りたいという思いがありました。

授業計画

- ① ねこちゃん体操（3時間）
- ② どうぶつ歩き（4時間…クマさん・アザラシさん・シャクトリムシさん）
- ③ おはなしマット（2時間…くまさんのおさんぽ）（1時間…はいポーズのつくりかえ）
- ④ おはなしマットの発表（1時間…はいポーズの発表）

一時間の授業の流れ

- ① ねこちゃん体操
- ② 「今日のどうぶつ歩き」の説明
- ③ グループで練習
- ④ 集合して、できている子とできていない子（教師が代理で）の比較
- ⑤ グループで練習
- ⑥ 全体でまとめ

実践報告をしてみよう

初めての実践報告ということで、まず実践したことを文章化することに苦労しました。書いているうちに、子どもたちのつぶやきや発見、感想が

らグループの様子がおもいだされたと同時に、一時間一時間のじぶんの悩みもはっきりしてきました。

(1) グループ学習について

一時間の授業の中で、どうぶつ歩きやおはなしマットが一つというのは、少なくないかなと悩んでいた。その中で途中遊ぶ子がでてきたり、飽きてきているような子が3, 4人出てきてグループ学習が成り立ちにくくなってきた。そのような課題に次のようなアドバイスをいただいた。

- ① 記録するところに○△×の理由とアドバイスを書く欄を作ってみてはどうか。
- ② 例えば、おはなしマットで「クマさんのおさんぽ」を「シャクトリムシさん」にかえてみる。

クマさんがやってきて こんにちは こんにちは さようなら はいポーズ



シャクトリムシさんがやってきて こんにちは こんにちは さようなら はいポーズ

(2) 支援の子に対するグループの子のかかわり方

子どもたちは、普段からKにたいしてお世話をするだけのかかわり方ではなく、「Kが今何をしたいのかな…」「どんなふうに言ってあげたらKがわかるかな」と考えて接してくれている。今回のグループ学習でも、Kがいる班の子どもたちは、横について一緒に動いたり、「ポーズの作りかえ」で話し合うときにも「Kができるポーズは何か」を中心に話し合っていた。子どもたちの様子から、ゆっくりとしっかり学ぶ時間も大切だなとあらためて感じました。

最後に

実践記録を残すためには、子どもたちに「ふりかえり」だけではなく「わかったことはどんなことなのか」を書かせたり、そのとき自分（教師）が知りたいことを子どもたちにポイントをしばってかかせるようにすることが大切だと教えていただきました。子どもたちが一時間の授業で何がわかって、何がわかっていなかったのか。また教師が教えようとしたことを子どもたちがどれだけわかったのかを知るためにも、感想文をどのように子どもたちに書かせるかということも大切なことだと思いました。